



◆夏休み終わりまでに必要なこと◆

1学期が終わります。最初の4ヶ月を、思うように過ごせたでしょうか？ 3年生には、日々の努力の成果が見え始めている人がいる一方で、なかなか思うようにいかず、「あれもできていない、これもできていない」と焦っている人も見受けられます。1・2年生の中には、「何だかあっという間に1学期終わっちゃったな…」と思っている人もいるかもしれません。

夏休みは、ここまでできなかった何かに、時間を使って「じっくり取り組む」絶好の機会です。各教科で課題が出ているのも、この「じっくり取り組む」を行ってほしいからです。ここでは、進路指導部から、「夏休み終わりまで」にぜひ取り組んでもらいたい課題を紹介します。

1 苦手科目の克服に重点的に取り組もう

まずは、模擬試験や1学期の成績を通して、自分の**弱点を、客観的に把握**することが大切です。

特に受験を控えた3年生は焦りもあると思いますが、夏休みは苦手分野に腰を据えて取り組むことができる**最後の機会**です。学力は一足飛びには伸びません。身の丈に合った課題にコツコツ取り組むことからしか道は開けないので、**まずやってみる**ことが大切です。まずは毎朝きちんと起きて（※生活習慣の確立はとても大切です）1日1日、学習に取り組んでください。

1・2年生は、「まだまだ時間はある」と油断しがちですが、習った後の間が空けば空くほど、復習は難しくなります（3年生にはこれを痛感している人が多いと思います）。自分で自分の可能性を狭めてしまうことのないよう、今の「苦手」を一つでも減らしていきましょう。後で必ず、「あのとき頑張っておいて良かった」と思う日が来ます。効果的に学習に取り組むためには、**最初の目標設定と計画**が不可欠です。



◆計画のポイント◆

- ① 夏休みを3つに分けて計画する
- ② 無理のない計画を立てる
- ③ 学校の課題を最優先する
(ハネット「ハイスカールライン」より)

授業が無い日が続きますが、図書館や自習室など、「使えるものは使う」精神で活用してください（開館スケジュールは確認してくださいね）。また、補習や面談で先生に会える機会も有効に使ってください。

2 オープンキャンパスに行こう!!

1年生でキャンパスツアーに行った（これから行く）人も多いと思いますが、夏休みを活用して、ぜひ、自分の関心のある学校のオープンキャンパスに行ってみてください。

オススメは、「少し遠い学校に行ってみる」です。オープンキャンパスは2学期以降も実施されますが、ぜひとも「長い休みにしか行けない」ところにも、ぜひ足を運んでみてください。ちょっと遠くまで旅行する気持ちで構いません。行きたい学校がもう決まっている人も、志望している学校と同じことが学べる学校のオープンキャンパスに出かけてみましょう。志望校と他の学校を比べることで、「やっぱり志望校の方がいい」とモチベーションが上がるかもしれません。また、「この学校、今まで知らなかったけど雰囲気いいし、自分と合ってるかも」といった出会いがあるかもしれません。1・2年生は様々な出会いを通じて、視野を広げてもらいたと思います。

3年生は、大学を見る目が「本気」になってきていると思います。今まで行ったことのある大学でも、「今年」聞きたい話（入試のことなど）を聞くために再度行ってみるのも有効です。受験勉強のモチベーションアップにも繋がります。

3 希望進路や選択科目についてよく考え、話し合おう

1・2年生は、夏休みが終わってすぐ、科目（コース）選択の本登録が待っています。例年、この登録の間際・直後に「どうしよう」と慌てる生徒がよく見受けられます。

科目・コース登録は、希望進路が見えていなければ決めることはできません。

また、特に2年生は、「自分の希望進路を実現するためにはどの科目が必要なのか」を綿密に調べておかなければ、後で大変なことになります。何となくで選択すると後で本当に後悔しますよ。自分の人生が大きく変わってしまうかもしれない重要な選択です。じっくりと考えたうえで本登録を行ってください。独りで悩む必要はありません。担任の先生に相談することはもちろんですが、進路指導部もぜひ利用してください。

夏休みに何を勉強したらいいかわからない人向けの学習アドバイス!!

英語…「アップグレード」などを利用して単語や文法の基礎を固めましょう。短くてもいいので毎日どこかでやるように心がけると◎ 継続は力なりですよ!!

国語…まずは評論に取り組んでください。読み方を理解すれば実は点が取りやすい分野です。

接続語などに注目して、どのような構造なのか大まかに捉える練習をしてみましょう。

数学…なにからやればいいのか分からない人はまず「二次関数」から始めてみましょう。数学で必要な考え方が詰まっています。演習を繰り返して「できる」を増やしましょう!